



## 例年とちょっと違う？スポーツの秋

9月13日（日）に、第74回体育大会を実施しました。いつもですと、2学期の始業日と同時に応援や競技・団技の練習が始まり、にぎやかな2学期のスタートになるところです。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症防疫のため、体育大会の競技を縮小し、観客も3年生の保護者一家庭お一人に制限させていただきました。その影響で、いつものような盛大な体育大会とまではいかなかった面もありますが、生徒は今できることを精一杯取り組んでいました。

本年度のスローガンは、「前進全霊～逆境を乗り越え、最後の最後まで走り抜け」でした。「全身全霊」を「前進全霊」にしたところに、感染症に負けず、前を向いて進んでいこうという本校生徒の気概を感じたところです。走る競技だけにしましたが、学級対抗リレーは、いつものように盛り上がったように感じています。残念ながら全保護者の皆様に生徒の勇姿をご覧いただくことはできませんでしたが、参加した3年生のご家族には、お子さんの成長を感じていただけたものと思います。

また、9月26日（土）・27日（日）には、中体連秋季体育大会が実施されました。本大会も、新型コロナウイルス感染症防疫のために、まだ以前通りの運営にはなりませんでしたが、各会場で本校生徒が活躍したようです。今月末から来月初旬に予定している県大会に向けて、更に練習に取り組んでいくことでしょう。



【体育大会の様子】



【中体連秋季体育大会バドミントン会場の様子】

## 地域への貢献＝地域を支える人材へ

学校には、地域の方々が来校され、授業支援をしてくださったり、生き方や仕事の話をしてくださったりしています。地域の方々には、本当にお世話になっているところです。しかし、学校（生徒）は、お世話になりっぱなしで何も恩返しできていないように感じています。学校運営協議会（コミュニティスクール）でも、中学生に地域の行事に参加してほしいと意見が出ます。

そのことを感じてくれたのか、地域貢献の意識が高いのか、本年度の生徒会活動目標が「地域に貢献できる学校にしよう」なのです。そして、構想約1年、本校にボランティアクラブ「Happiness（ハピネス）」が発足しました。（何社かの新聞で報じられました。）



【前々々町長さんにメッセージを渡す様子】

生徒会は、これまでも、エコキャップやコンタクトレンズケース回収、町一斉ラジオ体操参加の呼びかけ、赤い羽根共同募金を行ってきました。また、町福祉祭や保育園の夏祭りのお手伝いも行ってきました。しかし、どちらかと言うと、担当職員が段取りをつけて、希望者を募るといった教師主導型であったようにも感じます。そのようなことから、生徒の力によるボランティア活動が根づいていけばと期待しています。それが、将来的には地域を支える人材へと成長していくのだと思います。

今はまだ、感染症の影響でたくさんの人を巻き込んだ活動はできません。先日、全校生徒が高齢者の方へのメッセージを書き、施設に届けました。今できることをコツコツと積み上げたいと思います。